内径レンチ　取扱説明書

■　はじめに

この取扱説明書には、内径レンチ（以下、レンチ）の基本的な操作と安全な取扱方法が記載してあります。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■　使用目的

主としてねじ込み式配管における鋼管や給水管（化粧ニップル）のネジのゆるめ作業を行う工具で、操作方法のように使用します。

■　仕様（対象材）

品名・サイズ	品番	使用できる管の種類	適用される管の呼び寸法（Ａ表示）	内径レンチ六角部の対辺寸法
内径レンチ 10Ａ	IPW-10	配管用炭素鋼鋼管 給水管 （装飾用クロムニップル等）	10A	13
内径レンチ 15Ａ	IPW-15		15A	17
内径レンチ 20Ａ	IPW-20		20A	21
内径レンチ 25Ａ	IPW-25		25A	27
内径レンチ 15A20A	IPW-1520		15A・20A	21

注1.　内側被覆鋼管には使用できません。

注2.　ネジ部の腐食が著しい管は、レンチがすべる場合があります。

■　安全に対する注意事項

⚠ 警　告

①作業時に対象材に対してレンチを斜めに取り付けたり、かみ込み状態を確認せずに一気に力を加えますと、レンチがすべって大きな災害に結びつく事があります。レンチをセットする際には、必ず対象材に対してレンチが一直線になるようにセットしてください。又ゆっくりとかみ込み状態を確認しながら作業してください。

②足場の不安定なところでの作業は滑ったり落下するなど大変危険です。正しい姿勢で作業できる安定した足場を確保して作業を行ってください。

③このレンチの取扱説明書に表示された仕様の範囲を超えてご使用になりますと、レンチが破損し思わぬ事故の原因となりますので、仕様の範囲を逸脱する使用は絶対にしないでください。

⚠ 注　意

①　このレンチを使用する際、スパナやラチェットレンチなどのハンドルにさや管を取り付けて過大な力を加えると工具が破損しますので、絶対にしないでください。

②　対象材として指定したもの以外の作業は工具の破損につながりますので、使用しないでください。

③　工具の各部は常に点検を行い、損傷のある状態で使用しないでください。

■　日常の点検・メンテナンス

1）本体や偏芯歯の歯部に錆やゴミなどの異物が付着していないか、歯の山が摩耗したり欠損していないかを確認してください。異物が付着していれば、ワイヤーブラシやウエスなどで取り除いてください。

2）偏芯歯が本体の溝でスムーズに空回りするかを点検してください。もし空回りがスムーズでない場合は、本体と偏芯歯の接合部分に注油を行ってください。

■　作業を行われる前に

1)　保安帽・安全靴・保護用手袋などを着用し、正しい服装を心がけてください。

2)　床面の油や障害物で滑ったりつまずいたりしないように作業場所を整頓し､安定した足場を確保してください。

■　各部の名称
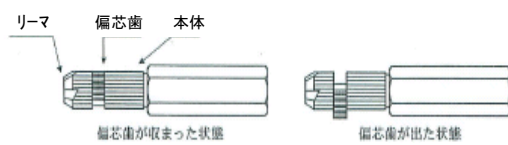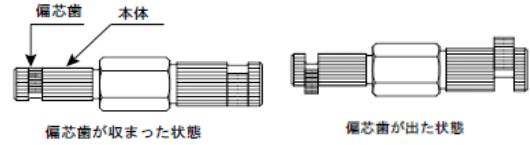
図 1（IPW－10・15・20・25）　　図 2（IPW－1520　兼用タイプ）

■　操作方法

1) 管内部に錆やゴミが著しい場合は、レンチ先端のリーマで錆やゴミを取り除く。(リーマの刃はレンチを左に回す時に働くように付いています)（IPW－10・15・20・25 の場合）

2) ゆるめようとする管にレンチをセットする。

・　偏芯歯が収まった状態で管に入れてください。(図 1、図 2)

・　偏芯歯よりも必ず深く管に入れてください。また、管とレンチがこじた状態で入れないでください。(図 3)

・　錆が硬くレンチが入り難い場合は、管に損傷を与えないようにレンチの端面をプラスチック製ハンマーなどで軽く叩くと入りやすくなります。
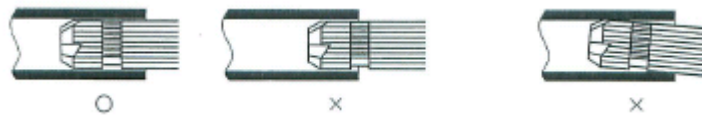
図 3

3)　レンチが管内面にかみ込むまで、左方向に手で回す。レンチが管にかみ込んだ状態を確認して、スパナやラチェットレンチなどで六角部をくわえる。ネジをゆるめる左方向にレンチを回す。

・　万が一レンチが滑った場合は、一度管から取り外し本体と偏芯歯の歯部を掃除してから、再度入れ直してください。

4)　抜き取られた管とレンチを取り出す。

・　抜き取られた管はレンチがかたくかみ込んでいますので、管をパイプレンチ等でくわえ、レンチを先ほどと逆の右方向に回し、ゆるめてください。

・　ゆるんだ状態よりさらにレンチを回し続けると、再び管とかみ込みますのでゆるんだ状態以上にレンチを回さないでください。

・　無理に叩いたり、衝撃などで管をレンチから外さないでください。工具の破損を引き起こします。

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
☎ (059)234-2454
http://www.mcccorp.co.jp

120521